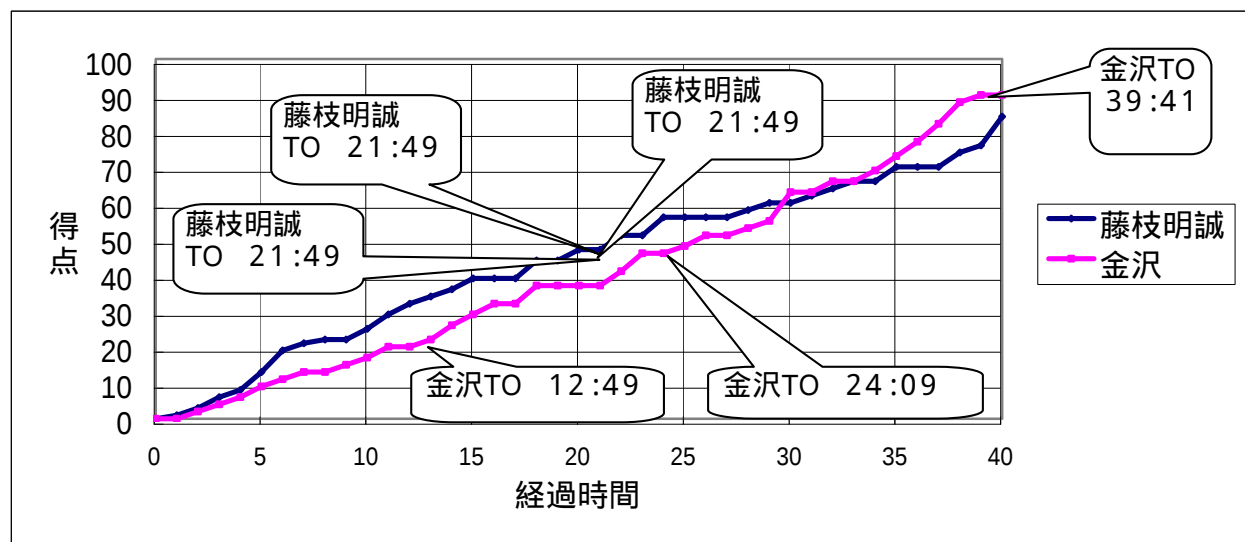


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	E3	12:50	男子 1回戦
期日	2007年（平成19年）7月29日（日）	藤枝明誠 84	25 - 17 22 - 20 13 - 26 24 - 27 -	90 金沢
会場	唐津東高等学校	静岡 ●		○ 石川

主審 梅本 哲三

副審 松本 究



藤枝明誠

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	田島 和斗	4	0	1	2	1
5	金子 宣孝	2	0	0	2	0
○ 6	藤井 祐真	20	1	8	1	2
7	鈴木 友貴	8	2	1	0	0
8	羅中杰	0	0	0	0	0
○ 9	趙明	16	2	5	0	2
○ 10	藤井 佑亮	13	2	3	1	0
11	幸野 竜次	3	0	1	1	0
○ 12	近藤 暉	12	2	3	0	4
13	増井 現	0	0	0	0	0
14	武藤 英仙	4	0	2	0	2
15	世良 昌浩	2	0	1	0	0
16						
17						
18						
コーチ	西塚 建雄					
	合計	84	9	25	7	

金沢

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	広瀬 誠	28	4	6	4	0
5	東 壤	9	0	4	1	3
○ 6	瀬戸 拓也	2	0	1	0	5
7	林 大悟	2	0	1	0	2
8	那谷 一樹	8	0	4	0	2
○ 9	柴田 祐希	35	6	8	1	1
○ 10	表 冴々朗	2	0	1	0	3
11	重田 統哉	0	0	0	0	1
○ 12	北村 裕樹	4	0	2	0	2
13	寺井 海	0	0	0	0	0
14	島田 渉平	0	0	0	0	0
15	地中 翔	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	大館 慶徳					
	合計	90	10	27	6	

○はスターター（はキャプテン） 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

速攻を中心とする藤枝明誠と粘り強いディフェンスを身上とする金沢の対戦は、逆転で金沢が勝利を収めた。第1 P ディフェンスはお互いハーフコートマンツーマンでスタートする。立ち上がり硬さからお互いシュートミスが続く。しかし、藤枝明誠は#6 藤井のフリースローを皮切りに#9 趙、#4 田島のシュートで得点を重ねる。一方、金沢は#6 瀬戸、#10 表、#4 広瀬のシュートで対抗。しかし、中盤リズムをとった藤枝明誠が連続4ゴールを決め25対17の8点リードで終了。第2 P 藤枝明誠は安定したディフェンスリバウンドから速い展開を仕掛け、#9 趙のポストプレイやリバウンドシュートなどで着々と点数を重ねる。一方、金沢は#9 柴田の3 P や#5 東のジャンプシュートなどで点数を縮めようとするが、高さの藤枝明誠に苦しみ10点のビハインドで前半終了。第3 P お互いハーフコートマンツーマンでスタートする。藤枝明誠は、安定した試合運びで得点を重ねると思われたが、藤枝明誠#9 趙がシュートブロックの際に足の負傷で退場した。そのため藤枝明誠ベンチは連続3回のタイムアウトでチームの立て直しを図る。しかし、金沢は激しい1 - 2 - 2のゾーンプレスから#9 柴田のジャンプシュートや#4 広瀬の連続3 P で逆転に成功し3点リードで終了。第4 P 藤枝明誠は足を負傷した#9 趙をコートに戻し逆転を図ろうとする。しかし、金沢は第3 P の勢いをそのままに持続し、#9 柴田のジャンプシュートや#4 広瀬の3 P など残り3分10秒で82対70と12点のリードを奪う。結局最後までねばり強く戦った藤枝明誠であったが、センター#9 趙の負傷が悔やまれる一戦であった。

| 記載者

溝口 博

(所属) 佐賀県バスケットボール協会